

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成26年11月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査②】)

【陸域生態系（鳥類）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

# 目 次

## I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 ..... I - 1
- 2. 工事の実施状況 ..... I - 2
- 3. 調査結果の概要 ..... I - 3

## II 事後調査結果

- 1. 陸域生態系（鳥類） ..... II - 1

## I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 26 年 11 月（陸域生態系（鳥類））の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 26 年 11 月）

### 埋立地周辺における調査

(1) 陸域生態系(鳥類) 表-1

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	11月4日	4回／年(2年おきに実施) (5月、8月、11月、2月)

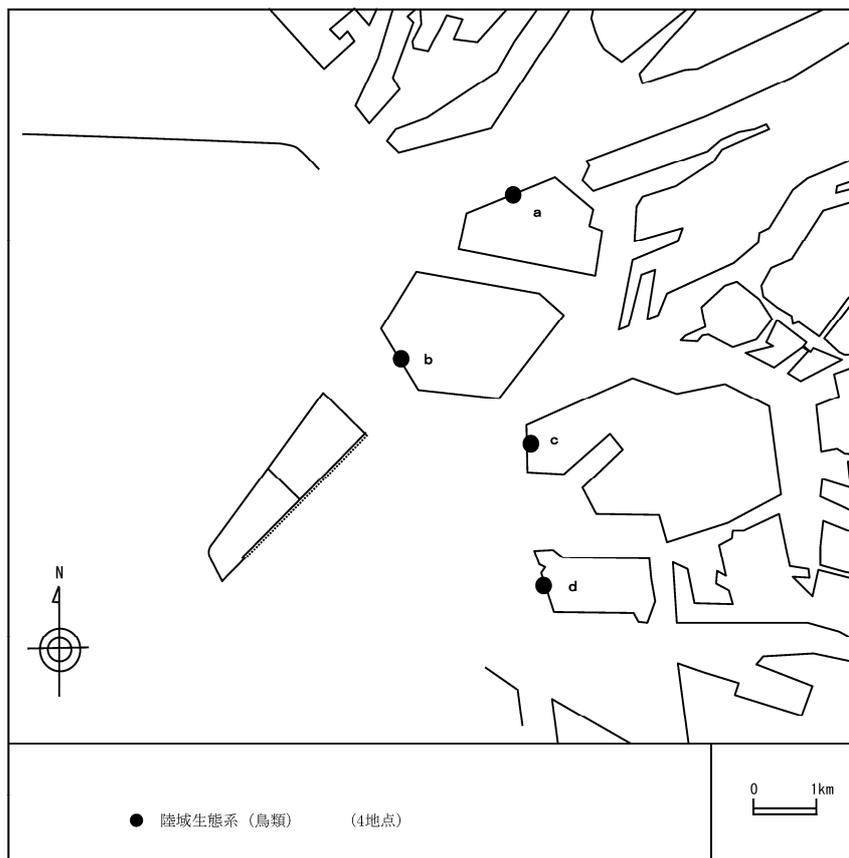
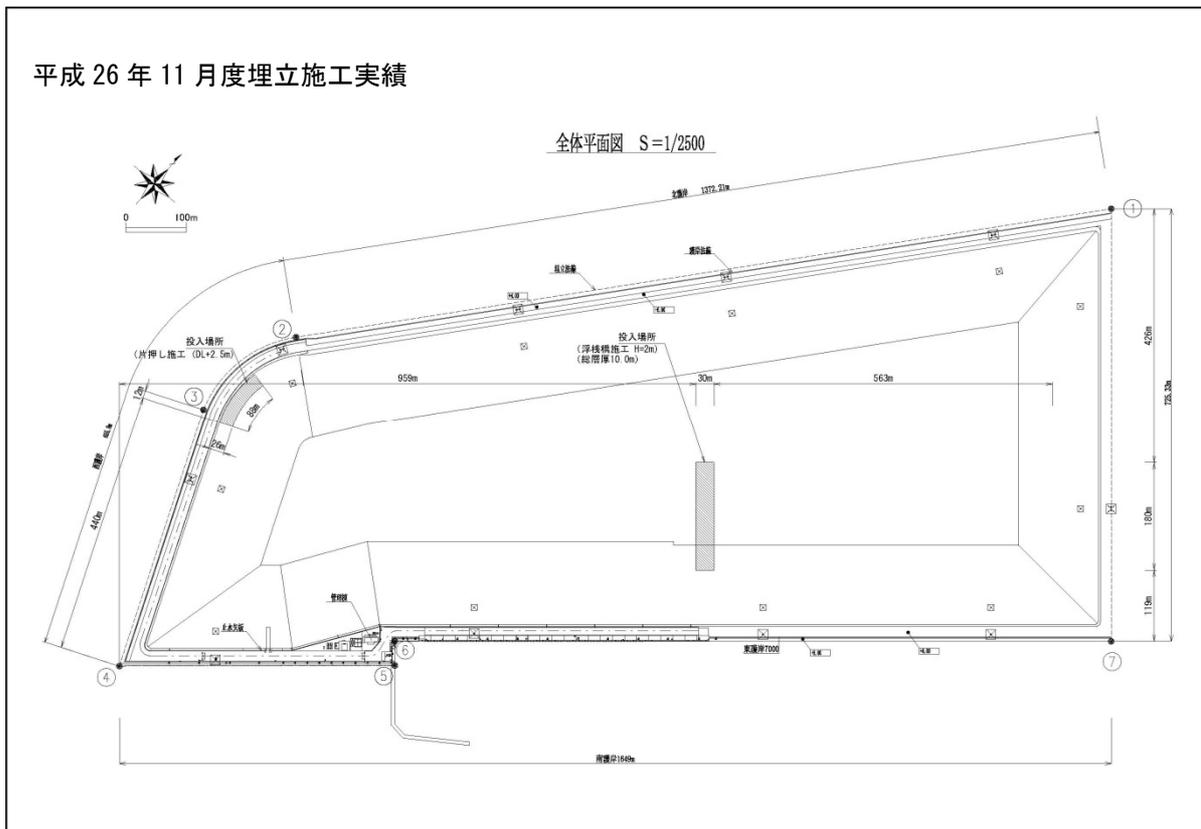


図-1 陸域生態系(鳥類)の調査地点(平成 26 年 11 月)

## 2. 工事の実施状況

平成 26 年 11 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
2,979,018	21.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (平成 26 年 11 月)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 陸域生態系（鳥類）〔陸域生態系（鳥類）様式第1～3号（埋立地関連）〕

鳥類の出現種類数は、4地点合計で9目19科41種であった。

調査地点別の出現個体数についてみると、調査地点bが最も多く2,775羽であり、次いで調査地点dの266羽、調査地点cの139羽、調査地点aの99羽の順であった。

調査地点別の出現種類数についてみると、調査地点bが最も多く30種であり、次いで調査地点cの18種、調査地点dの15種、調査地点aの13種の順であった。

個体数が最も多かった調査地点bにおける主要な出現種は、ホシハジロ（カモ目カモ科）、カワウ（ペリカン目ウ科）、ハシビロガモ（カモ目カモ科）、スズガモ（カモ目カモ科）、コガモ（カモ目カモ科）であった。

本調査では、秋の渡り期に特徴的な種としてトウネン、ツルシギ、コアオアシシギ、アオアシシギの4種の旅鳥が確認され、このうちツルシギは本調査で初めて確認された種であった。

## II 事後調查結果

陸域生態系（鳥類）様式第1号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（種別出現状況）[平成26年11月分]

調査日：平成26年11月4日

目	科	種	区分	地点別出現個体数						
				a	b	c	d	計		
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥		1	40		41		
		ハジロカイツブリ	冬鳥		32			32		
		カンムリカイツブリ	冬鳥		1			1		
ペリカン コウノトリ	ウ サギ	カワウ	留鳥	1	535	3	12	551		
		コサギ	留鳥			1		1		
カモ	カモ	アオサギ	留鳥	2	4	4	1	11		
		マガモ	冬鳥		5	12		17		
		カルガモ	留鳥	12	24	27		63		
		コガモ	冬鳥		101	6		107		
		オカヨシガモ	冬鳥		11			11		
		ヒドリガモ	冬鳥		21		2	23		
		オナガガモ	冬鳥		83			83		
		ハシビロガモ	冬鳥		209			209		
		ホシハジロ	冬鳥	25	1,404			1,429		
		キンクロハジロ	冬鳥		42			42		
		スズガモ	冬鳥		169			169		
		タカ	タカ	ミサゴ	留鳥		3	2		5
				トビ	留鳥	2	3			5
ツル チドリ	クイナ シギ	オオバン	留鳥	1	50			51		
		トウネン	旅鳥				6	6		
		ハマシギ	冬鳥		38		11	49		
		ツルシギ	旅鳥		1			1		
		コアオアシシギ	旅鳥			1		1		
		アオアシシギ	旅鳥		3			3		
		イソシギ	留鳥				2	2		
		セグロカモメ	冬鳥	5			188	193		
		カモメ	冬鳥		1			1		
		ウミネコ	留鳥	1	1		10	12		
ハト	ハト	ドバト	(移入種)				1	1		
		キジバト	留鳥			3		3		
スズメ	ヒバリ セキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ハタオリドリ カラス	ヒバリ	留鳥		2			2		
		ハクセキレイ	留鳥	2	6	1	3	12		
		ヒヨドリ	留鳥	2		13	22	37		
		モズ	留鳥	2	1	1		4		
		ジョウビタキ	冬鳥	1	2	2		5		
		イソヒヨドリ	留鳥		1	1		2		
		ウグイス	留鳥				1	1		
		シジュウカラ	留鳥			2	2	4		
		メジロ	留鳥			17	3	20		
		ハタオリドリ	留鳥		13		2	15		
		カラス	留鳥	43	8	3		54		
		合計（9目19科41種）			目数	7	8	8	6	9
					科数	11	14	14	12	19
種類数	13				30	18	15	41		
個体数	99				2,775	139	266	3,279		

注) 1. 分類及び種の配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リストー平成24年度版生物リスト」(国土交通省、2012)に従った。

2. 渡りの区分は、「大阪府鳥類目録2001」( (財)日本野鳥の会大阪支部、2002)に従った。

陸域生態系（鳥類）様式第2号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（主な出現種の構成割合）[平成26年11月分]

調査日：平成26年11月4日

区分	地点別出現個体数					
	a	b	c	d	計	
出現状況	目	7	8	8	6	9
	科	11	14	14	12	19
	種	13	30	18	15	41
出現個体数	99	2,775	139	266	3,279	
主な出現種 (個体数、 組成比率)	ハシブトガラス (43羽、43.4%)	ホシハジロ (1,404羽、50.6%)	カイツブリ (40羽、28.8%)	セグロカモメ (188羽、70.7%)	ホシハジロ (1,429羽、43.6%)	
	ホシハジロ (25羽、25.3%)	カワウ (535羽、19.3%)	カルガモ (27羽、19.4%)	ヒヨドリ (22羽、8.3%)	カワウ (551羽、16.8%)	
	カルガモ (12羽、12.1%)	ハシビロガモ (209羽、7.5%)	メジロ (17羽、12.2%)	カワウ (12羽、4.5%)	ハシビロガモ (209羽、6.4%)	
	セグロカモメ (5羽、5.1%)	スズガモ (169羽、6.1%)	ヒヨドリ (13羽、9.4%)	ハマシギ (11羽、4.1%)	セグロカモメ (193羽、5.9%)	
	アオサギ (2羽、2.0%)	コガモ (101羽、3.6%)	マガモ (12羽、8.6%)	ウミネコ (10羽、3.8%)	スズガモ (169羽、5.2%)	
	トビ (2羽、2.0%)					
	ハクセキレイ (2羽、2.0%)					
	ヒヨドリ (2羽、2.0%)					
	モズ (2羽、2.0%)					

注) 表中の主な出現種は、地点別の優占種上位5種を示した。

陸域生態系（鳥類）様式第3号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（科別出現状況）[平成26年11月分]

調査日：平成26年11月4日

調査地点 a				調査地点 b			
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)	順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	カラス	1	43.4	1	カモ	10	74.6
2	カモ	2	37.4	2	ウ	1	19.3
3	カモメ	2	6.1	3	クイナ	1	1.8
4	サギ	1	2.0	4	シギ	3	1.5
4	タカ	1	2.0	5	カイツブリ	3	1.2
4	セキレイ	1	2.0	6	ハタオリドリ	1	0.5
4	ヒヨドリ	1	2.0	7	カラス	1	0.3
4	モズ	1	2.0	8	タカ	2	0.2
9	ウ	1	1.0	8	セキレイ	1	0.2
9	クイナ	1	1.0	10	サギ	1	0.1
9	ツグミ	1	1.0	11	ツグミ	2	0.1
				12	カモメ	2	0.1
				12	ヒバリ	1	0.1
				14	モズ	1	0.0

調査地点 c				調査地点 d			
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)	順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	カモ	3	32.4	1	カモメ	2	74.4
2	カイツブリ	1	28.8	2	ヒヨドリ	1	8.3
3	メジロ	1	12.2	3	シギ	3	7.1
4	ヒヨドリ	1	9.4	4	ウ	1	4.5
5	サギ	2	3.6	5	セキレイ	1	1.1
6	ウ	1	2.2	5	メジロ	1	1.1
6	ハト	1	2.2	7	カモ	1	0.8
6	ツグミ	2	2.2	7	シジュウカラ	1	0.8
6	カラス	1	2.2	7	ハタオリドリ	1	0.8
10	タカ	1	1.4	10	サギ	1	0.4
10	シジュウカラ	1	1.4	10	ハト	1	0.4
12	シギ	1	0.7	10	ウグイス	1	0.4
12	セキレイ	1	0.7				
12	モズ	1	0.7				

注) 優占率は四捨五入した値を表示しており、合計は100.0%にならないことがある。